

旧RD最終処分場対策工事の状況について

1 一次対策工事【H24.8~25.3】(資料5-1)

昨年8月に契約し、本年3月に完了した。概要は以下のとおり。

(1) 有害物掘削除去

- ・廃棄物土掘削量 約 10,000 m³ (東側焼却炉周辺)
- ・搬出廃棄物量 特別管理産業廃棄物相当物 539トン
- 医療系廃棄物 806トン
- ドラム缶およびその内容物が浸潤した土砂等 211トン
(ドラム缶79本)

場外搬出対象としなかった廃棄物土については場内に仮置きし、二次対策工事で選別し適切に処理

(2) 浸透水揚水井戸設置

- ・浸透水井戸を2基新設
- ・新設井戸および既設井戸から浸透水を揚水し、既設水処理施設で処理

2 二次対策工事【H25~32】(資料5-2、資料5-3)

来年度からの工事实施に向け、手続等を進めている。

(1) 実施計画変更案についての環境省との調整は最終段階

(2) 実施計画変更案に対する環境大臣の同意が得られれば、速やかに入札手続等を進め、議会承認が必要な契約案件については議会の議決を得た上で、工事に着手

(3) 工事の年度別計画は別紙のとおり。(資料5-3)

一次対策工事の状況

1 平成 23 年度までの調査で位置が確定した有害物の掘削除去

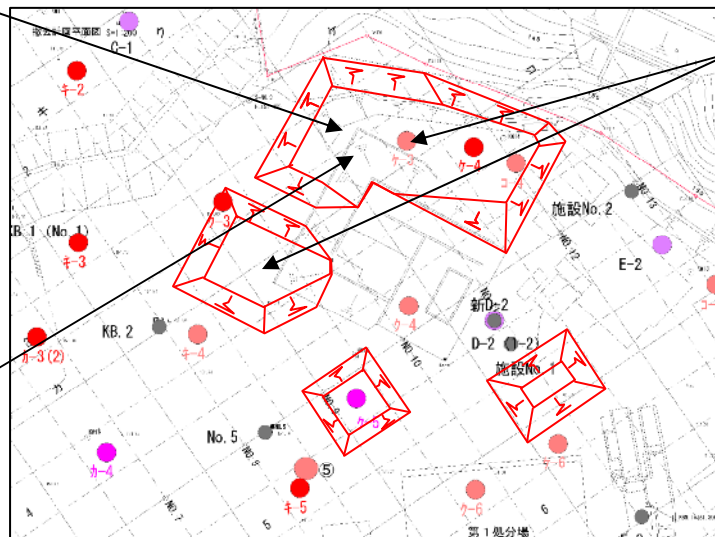
- ・ 東側焼却炉周辺を約 10,000 m³掘削
- ・ 特別管理産業廃棄物相当物 539 トン、医療系廃棄物 806 トン、ドラム缶およびその内容物が浸潤した土砂等 211 トン（ドラム缶 79 本）を場外処分



ドラム缶（タール様の内容物が残っているもの等）

医療系廃棄物（点滴容器等の薬品空き瓶の中に注射針・採血容器が少量混在）

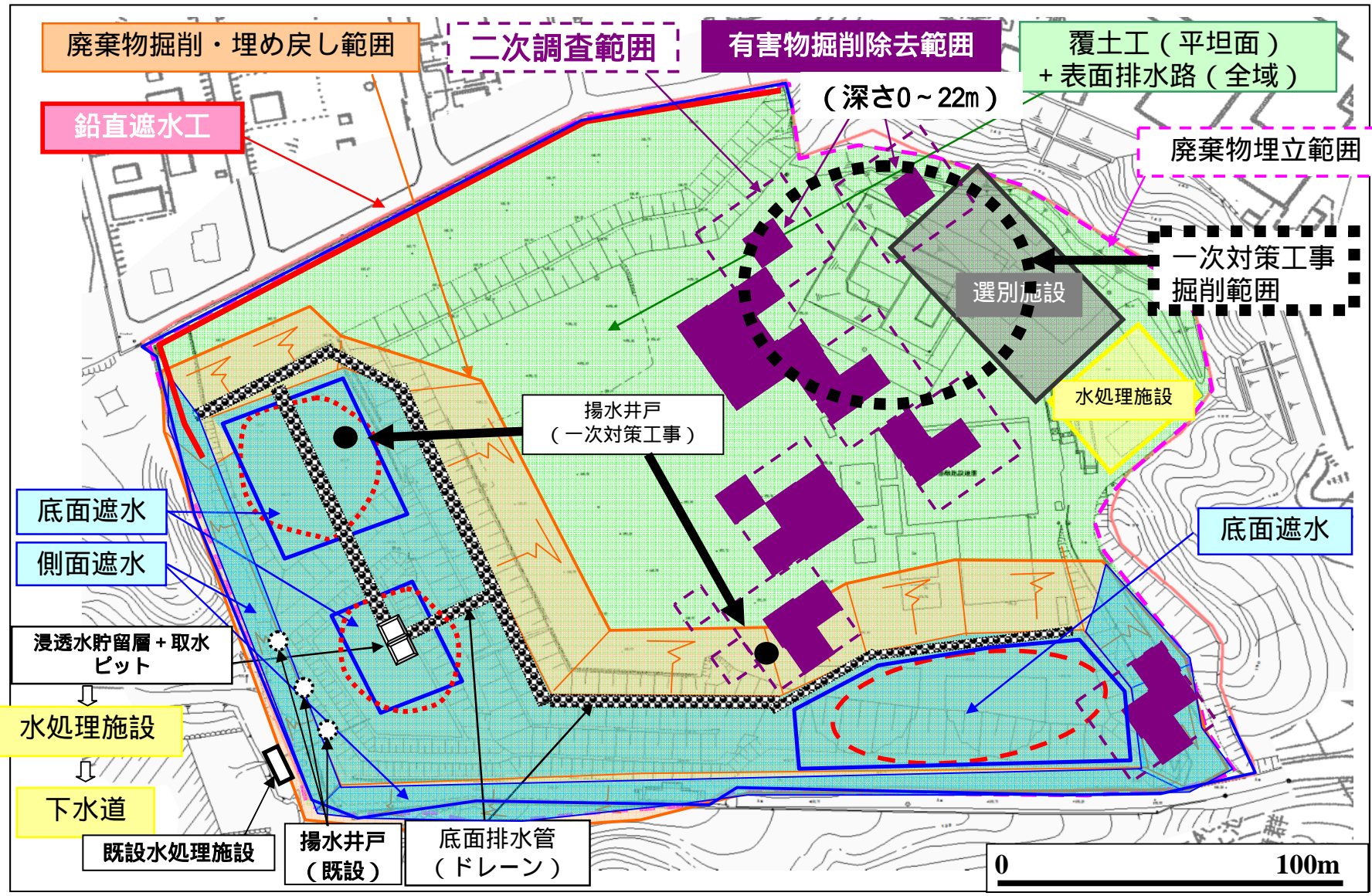
一次対策工事掘削範囲



2 地下水汚染拡散軽減のための浸透水井戸新設・揚水処理

- ・ 浸透水井戸を 2 基新設し、既設井戸 3 基と併せて浸透水を揚水・処理

対策工事概要図



二次対策工事 年度別計画(案)

<p>平成25年度</p>		<p>既設構造物の撤去 二次対策に支障となる既設建築物（溶融炉建屋、プレハブ等）の取り壊しを行う。（建築課執行）</p> <p>水処理施設設置工事 H25 から H26 にかけて施工する。H25 については、水処理施設の設計および施設プラントの製作を行い、H26 に水処理施設の基礎工事、組み立てを行う。</p> <p>二次対策全体工事 H25 から H32 にかけて施工する。H25 は、選別施設のテント等の製作、施設基礎工事等を行う。</p>
<p>平成26年度</p>		<p>水処理施設設置工事 施設の基礎工事、処理プラントの組み立て、下水道接続を行う。（完成）</p> <p>二次対策全体工事</p> <p>選別施設 建屋建築、選別ライン組み立て、集じん脱臭設備等を設置する。（完成）</p> <p>ストックヤードの設置 選別した廃棄物や埋戻し材の仮置きヤードを設置する。</p> <p>選別施設の稼働 仮置きしている廃棄物土を選別施設で埋戻し材と廃棄物に選別する。 埋戻し材は、H27 から実施する掘削工事後の埋戻し工事まで、仮置きする。</p> <p>鉛直遮水工 隣接する団地側と接している地下水層を遮断するために、深さ 10m ~ 20m の連続する壁を地中に設置する。</p>
<p>平成27年度 ~ 平成31年度</p>		<p>二次対策全体工事</p> <p>底面、側面遮水工 (H27 ~ H30)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地下水層と接している底面部分と側面部分の遮水工事を行う。 廃棄物層内の浸透水の影響を考慮し、複数の区画に分割しセメント系の改良材で遮水する。 廃棄物層の浸透水を効率よく集水するために、遮水面の上に排水ドレーン管を設置する。 掘削した廃棄物土は選別施設で埋戻し材と廃棄物に選別し、埋戻し材は、埋め戻し時に使用する。 <p>浸透水貯留層（取水ピット）設置 (H30) 浸透水を一時貯留する施設と水処理施設へ送水する施設を設置する。</p> <p>有害物掘削除去工 (H31) これまでの調査で、土壤環境基準を超過した区画について、有害物の掘削除去を行う。有害物は、場外処分を行う。</p>
<p>平成31年度 ~ 平成32年度</p>		<p>二次対策全体工事</p> <p>覆土工 (H31 ~ H32) 雨水の廃棄物層への浸透を抑制するほか、雨水を廃棄物等に接触せずに流下させるため、平地、法面部分を良質土により覆土を行う。底面・側面遮水の埋戻しが完了次第順次施工を行う。</p> <p>雨水排水工 (H31 ~ H32) 雨水を効率よく流下させるために、雨水排水側溝を設置する。</p> <p>選別施設の解体工 (H31) 選別施設を解体撤去する。</p>

廃棄物の運搬・処分委託は別途発注する。

対策工の実施期間中および対策工事完了後は、浸透水や地下水のモニタリングにより対策工の影響や効果を把握していく。